



SERVICE GUIDE FOR CLIENT COMPANIES

システム発注の不安を、 見える安心に変える。

発注企業と開発会社が、要件・見積・仕様変更・検収まで同じ情報を共有できる **AI Agreement Platform**

発注企業さま向け

ご利用料金 ¥0

社内に専任の要件定義担当・ITコンサル・PdM がない企業・事業部さまへ

意思を、カタチに。 *Form follows intent.*

株式会社AccordNexus | 2026年9月 | www.accordnexus.com

システムの発注で、こんな不安はありませんか

IT の専門家でないからこそ、発注の各段階に「わからない」がつきまといます

“ 要望をうまく言葉にできない

「こういう感じにしたい」はあるのに、何から・どの順番で伝えればいいのか分からない。必須の機能と「あったら嬉しい」の区別もつきません。

“ この見積、妥当なの？

予算や納期が妥当なのか、内訳を見ても判断できない。会社ごとに見積の前提や条件が違うので、比較のしようもありません。

“ 開発が始まると中が見えない

「順調です」の報告だけで実際の進みは見え、会議で決まったことが議事録に正しく残っているかも分かりません。

“ 出来上がったら「イメージと違う」

変更が口頭やチャットで進んで履歴が残らず、担当者が代わると経緯も分からない。最後に「聞いていない」が噴き出します。

AccordNexus は、50社超の開発会社・DX担当者・事業会社への課題ヒアリングをもとに設計しています。

専門知識がなくても、開発会社任せにせず発注できる。

発注のそれぞれの不安が、こう変わります

これまでの不安

何を伝えればいいか分からない



見積の妥当性が分からない



「言った・言わない」が起こる



開発状況が分からない



完成後に「イメージと違う」



AccordNexus なら

AI と話すだけで、発注に必要な情報が整理される

前提・工数・変更条件を確認して発注できる

決定・未決事項・宿題・変更履歴が残る

進捗・課題・リスクをいつでも確認できる

完成基準を先に合意してから作り始める

✓ **ご利用料金 ¥0** (開発会社からの招待で参加。発注者向け機能を追加費用なしで) ✓ **結果として、手戻り・追加費用・納期遅延を減らせます**

導入による期待効果

会社にとっての効果と、窓口となるご担当者さまの負担軽減の両方を目指しています

項目	期待効果
要望整理・初回ヒアリングの時間	30～50% 削減
要件整理の時間	30～40% 短縮
手戻り・認識齟齬	30～50% 削減
検収までの期間	20～30% 短縮

開発会社さま側でも見積作成時間や無償の追加対応が減り、無理のない健全なプロジェクト運営につながります。

窓口のご担当者さまも、楽になります

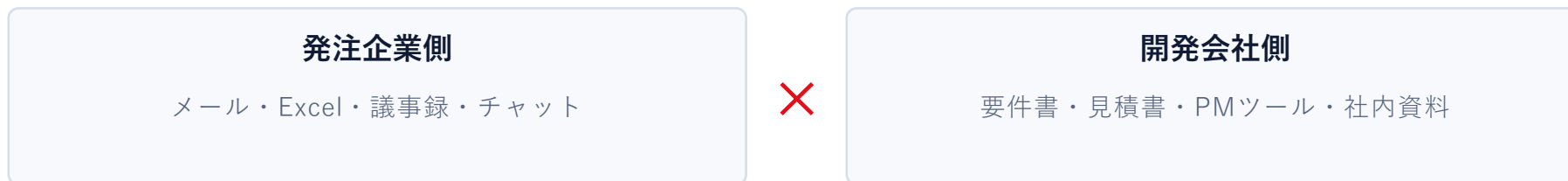
- ✓ 同じ説明を何度も繰り返す必要がなくなる
- ✓ 議事録や報告を催促しなくても、決定事項が残っている
- ✓ 社内への説明・稟議に使える資料がすぐ出せる
- ✓ 変更の経緯と費用を、自分でいつでも確認できる
- ✓ 「言った・言わない」の板挟みにならない

※ 数値は導入前の想定に基づく「期待効果」であり、実測値ではありません。 導入実績の蓄積にあわせて、実測データへ更新していきます。

AccordNexus とは

どちらか一方だけを支援しても、すれ違いは解決できません — 双方が同じ情報を見る必要があります

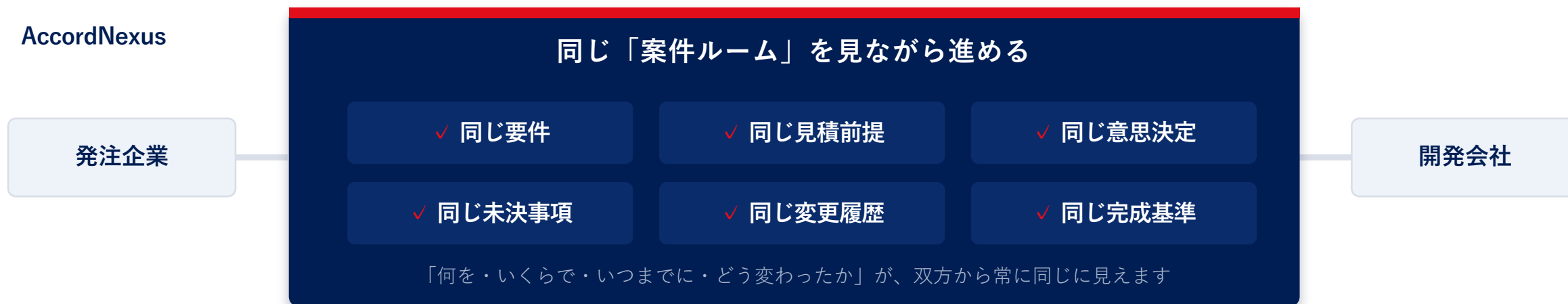
従来



双方が別々の情報を持つため、認識がずれ、「言った・言わない」が生まれる



AccordNexus



発注者と開発会社が、同じものを見ながら進める。

なぜ今? — AI で「作る」が速くなるほど、「何を作るか」の合意が大切に。AccordNexus はそこを支えます。

HOW IT WORKS

招待されたら、あとは普段の言葉で話すだけ。

難しいシステム発注を、ひとつずつ確認しながら進められます



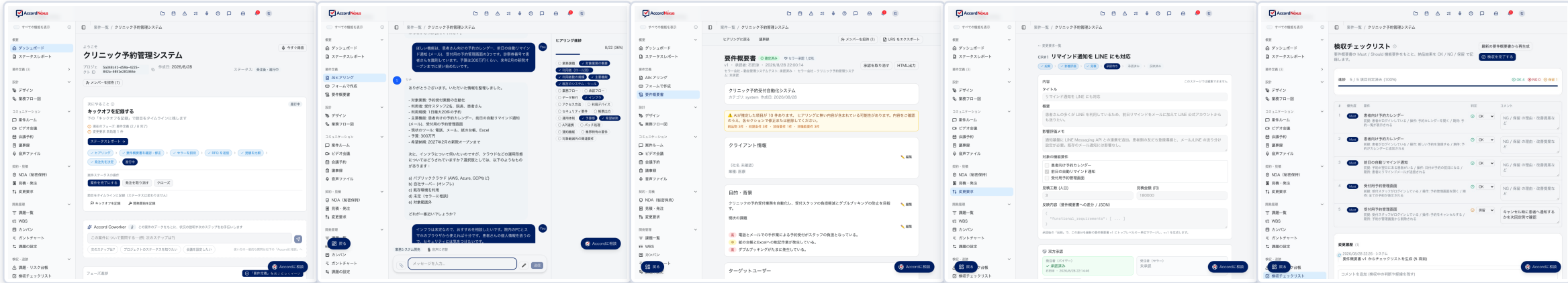
開発会社から届いた招待リンクを開くだけ

IT用語を使わず、AI にやりたいことを話す

AI が整理した「作るもの」を確認・修正

何にいくら・今どこまで・なぜ変更されたのかを確認

最初に合意した完成基準で検収



参加する → 話す → 確認する → 見守る → 受け取る。 難しい設定や専門知識は必要ありません

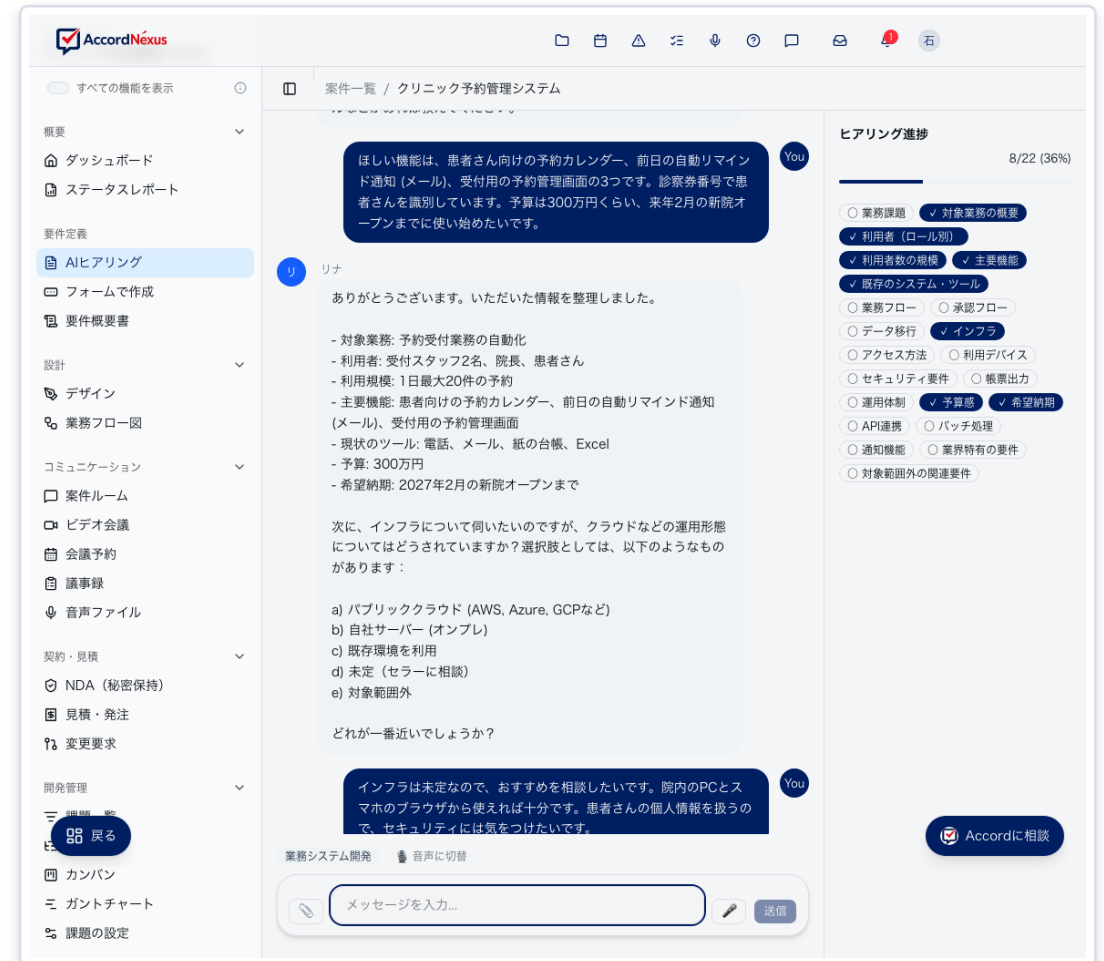
AI ヒアリング — 要望を、話すだけ

AI が対話形式で要望を聞き取り、整理します。相手は AI なので、何度言い直しても、深夜でも、大丈夫。

■ **専門用語は不要** — 普段の言葉で答えるだけ。AI が開発に必要な情報へ翻訳します

■ **何から話すか、迷わない** — AI が順番に質問するので、伝える情報の抜け漏れを減らせます

■ **「必須」と「あったら嬉しい」を整理** — 要望に優先順位がつき、スコープを確認しやすくなります



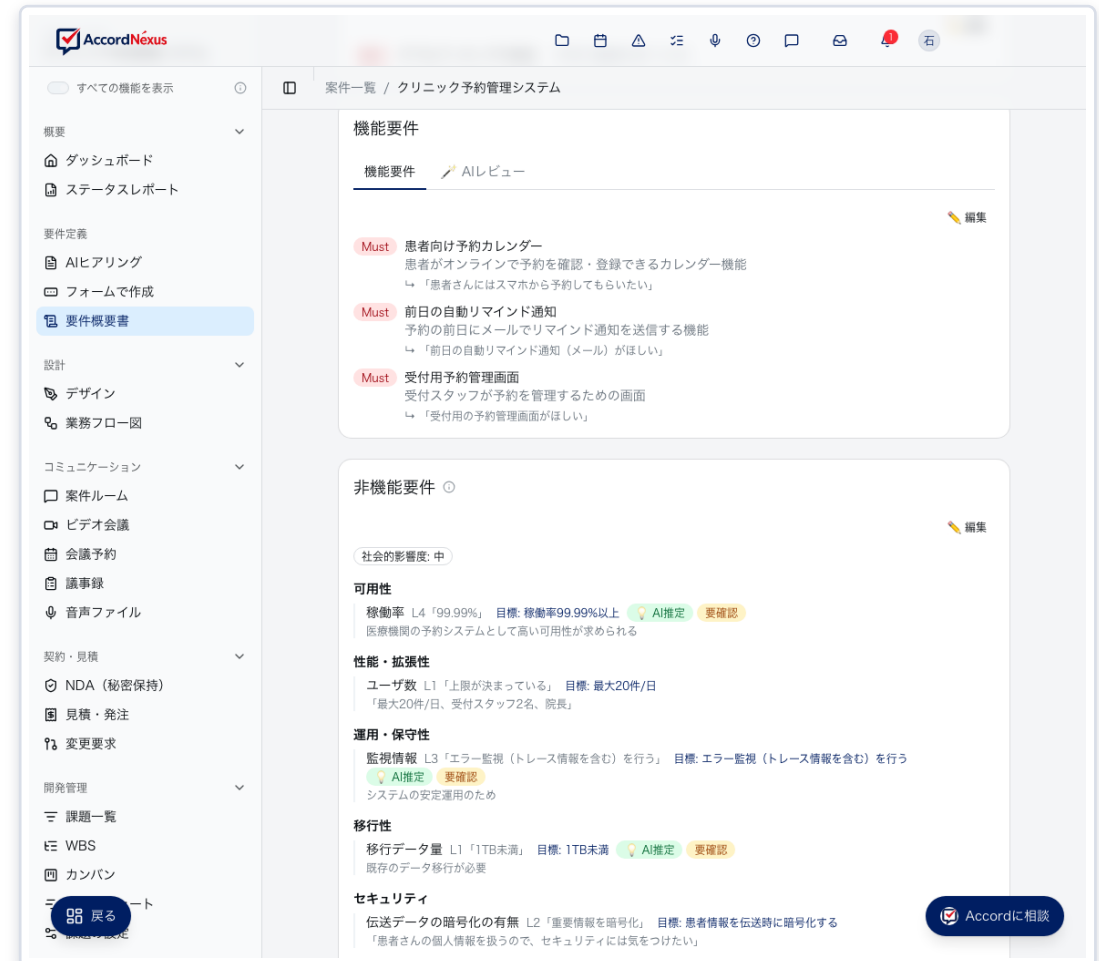
要件概要書 — 「作るもの」を発注前に確認

対話の内容から要件の文書が自動で作られます。発注する前に「何が作られるのか」を自分の目で確認・修正できます。

■ **読んでわかる文書** — 専門的な仕様書ではなく、発注者が読んで判断できる形式

■ **どの発言から来たかが辿れる** — 文書の各項目に来歴があり、「そんなこと言っていない」が起きません

■ **修正はその場で** — 違うと思ったら直せばよいだけ。直した履歴も残ります



合意ログ — 決まったことが、消えない

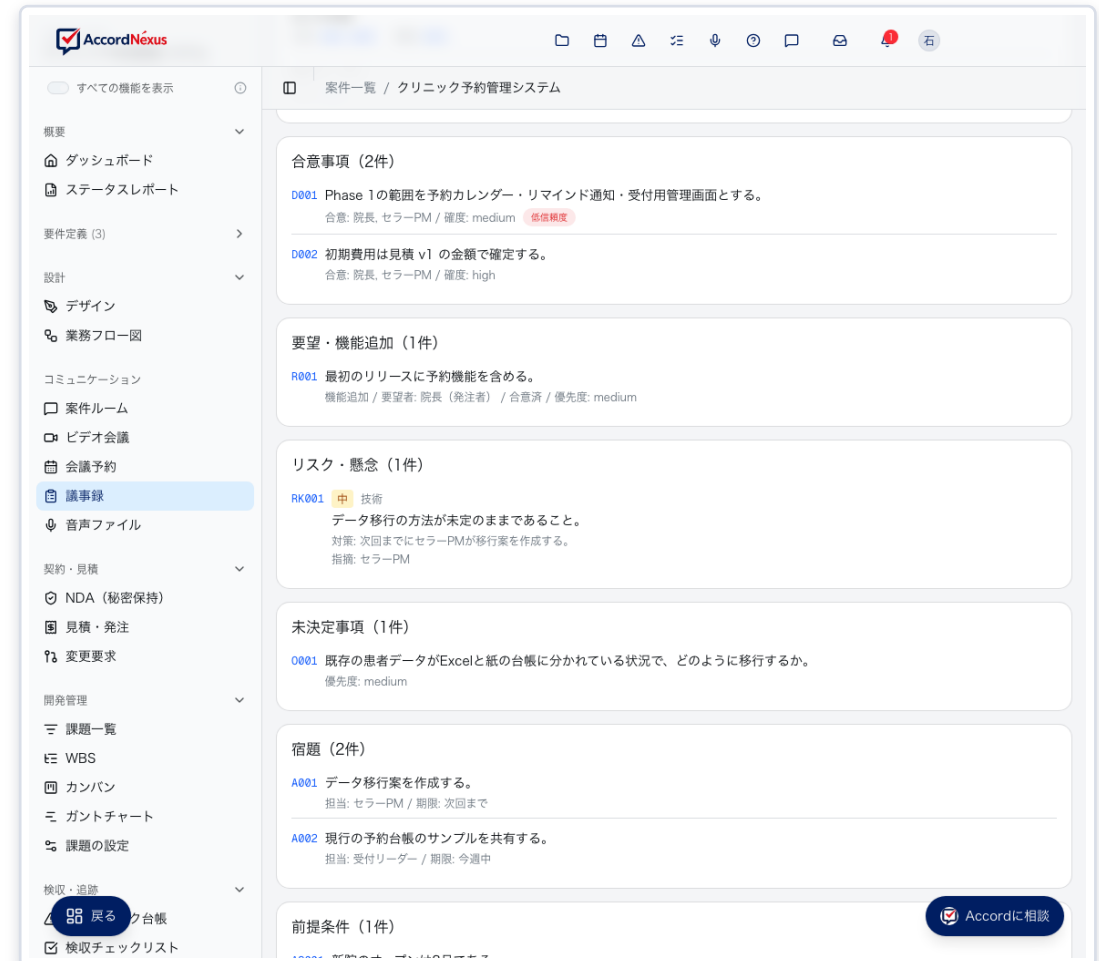
打ち合わせの決定事項・宿題・リスクが記録され、後からいつでも見返せます。

■ **会議は自動で議事録に** — 録音から文字起こしと要約まで自動。決定事項が正確に残ります

■ **決定・未決事項・宿題が一目瞭然** — 「何が決まって、何が保留か」が整理されて残ります

■ **履歴は追記型で残る** — 上書きされないので、万一のトラブル時にも事実に戻れます

■ **担当者が代わっても大丈夫** — 過去の要件・決定・変更の経緯を、案件上でそのまま引き継げます



見積から検収まで、ずっと透明

見積の内訳、仕様変更の扱い、完成の基準。お金にかかわる合意がすべて明文化されます。

■ **内訳の見える見積** — 何にどれだけの工数がかかるのか、前提・変更条件つきで確認できます

■ **変更はきちんと変更として** — 追加のお願いは影響（費用・納期）を確認したうえで合意。経緯も残ります

■ **検収は基準に沿って** — 事前に合意したチェックリストで確認し、納得して受け取れます

■ **複数社への見積依頼と比較** — 同一条件で複数社へ依頼し、内訳を横並びで比較できます。ラウンドを重ねて条件を詰めることも可能です

The screenshot displays the AccordNexus interface for a project titled '案件一覧 / クリニック予約管理システム'. The left sidebar contains a navigation menu with categories like '概要' (Overview), '要件定義' (Requirements Definition), '設計' (Design), 'コミュニケーション' (Communication), '契約・見積' (Contract/Estimate), '開発管理' (Development Management), and '検収・追跡' (Acceptance/Tracking). The main content area shows a detailed breakdown of the estimate.

項目	数量	単価	金額
■ 設計			
要件定義・基本設計	6 人日	60000	¥360,000
■ 開発			
患者向け予約カレンダー実装	10 人日	60000	¥600,000
自動リマインド通知 (メール) 実装	4 人日	60000	¥240,000
受付用予約管理画面の実装	8 人日	60000	¥480,000
■ テスト			
結合テスト・受入テスト支援	5 人日	55000	¥275,000
■ PM・進行管理			
プロジェクト管理・定例	4 人日	65000	¥260,000
■ 環境構築			
クラウド環境構築 (本番・ステージング)	3 人日	60000	¥180,000
小計			¥2,395,000
消費税 (10%)			¥239,500
合計 (税込)			¥2,634,500

At the bottom, a green confirmation bar states: '✓ 要件概要書 v1 を承認済みです (2026/8/28 22:10:58)。この承認は取り消せません。' (Requirements Summary v1 is approved as of 2026/8/28 22:10:58. This approval cannot be canceled.) with a button to 'Accordに相談' (Consult Accord).

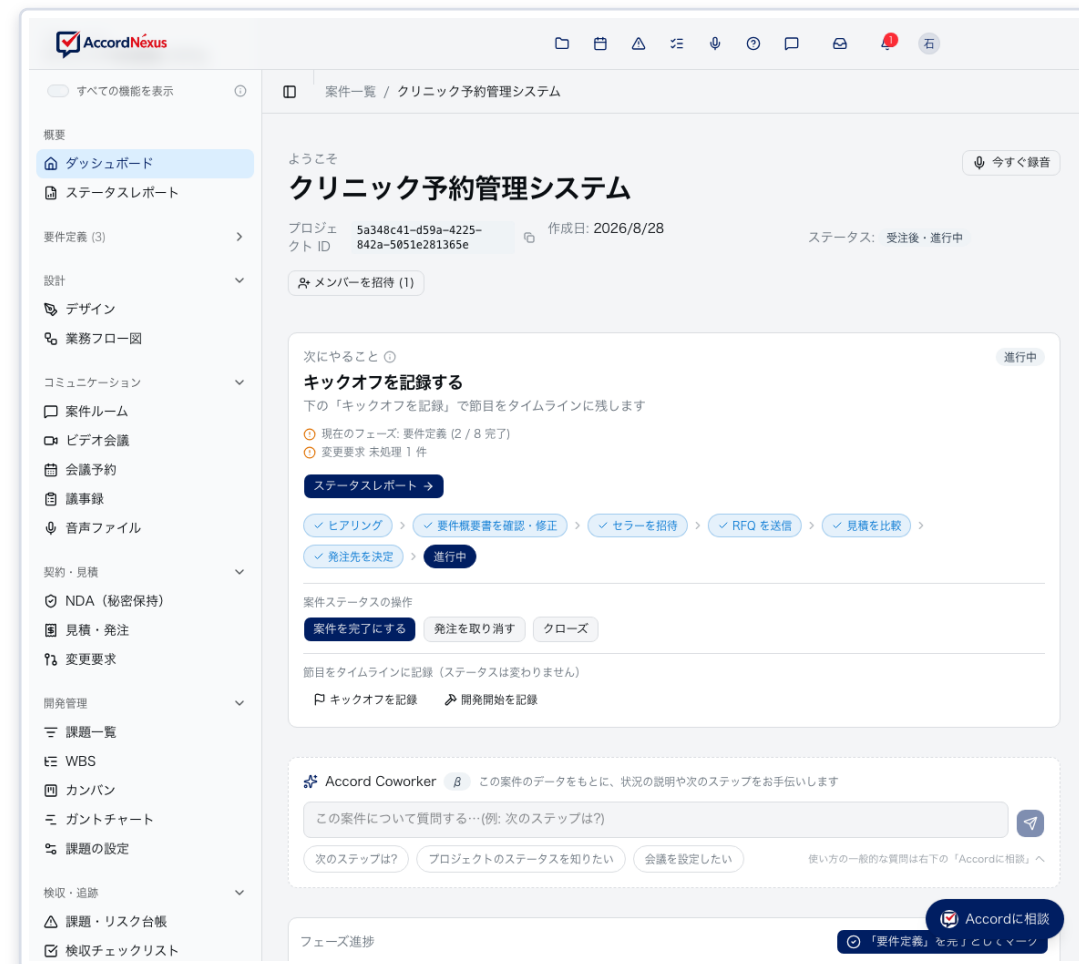
進捗の見える化 — 「順調です」を確かめられる

開発の進み具合はダッシュボードでいつでも確認。報告を待つ必要はありません。

■ **案件の今がひと目でわかる** — フェーズごとの進捗・未解決の課題・直近の予定を一覧で

■ **ステータスレポート** — 開発会社が共有すると通知が届き、要点だけをまとめた報告をいつでも見返せます

■ **課題・リスクの台帳** — 気になる点は課題として登録。担当と期限つきで追跡されます



従来の発注方法との違い

PMツールは「作る」を管理する。AccordNexus は「何を作るか」の合意から管理する。

	これまでの発注	AccordNexus
要件	Word / Excel の資料をメールで往復	✓ 要望から「作るもの」がつながって見える
打ち合わせ	議事録は別ツール。共有漏れも	✓ 決定・未決事項・宿題が自動で残る
見積	PDF が届くだけ。前提は口頭	✓ 前提・工数・変更条件まで確認できる
進捗	報告を待つしかない	✓ いつでも自分で確認できる
変更	メール / チャットに埋もれる	✓ 理由・費用・納期が履歴として残る

ツールを一つにすることではなく、『合意のつながり』を一つにする。

AccordNexus が目指す世界

個別の機能ではなく、企業間プロジェクトの「合意インフラ」を目指しています

現在

メール・Excel・チャット・議事録・PMツール —
情報が分散し、企業間で認識がずれる



AccordNexus

要望・要件・見積・変更・進捗・検収を、
一つの案件ルームにつなぐ



これから

AI が要件の抜け漏れやリスクの発見を支援し、
発注企業と開発会社が同じ場所でプロジェクトを進める
企業間プロジェクトの「合意インフラ」へ

AI は「合意形成の支援」へ進化します

- ◆ 要件の抜け漏れ検知
- ◆ 仕様変更の影響分析
- ◆ リスクの自動提示
- ◆ 未決事項の抽出
- ◆ 過去案件との比較

※ 抜け漏れの指摘・未決事項の抽出などは提供済み。その他は今後順次拡充します

単なる AI チャットではなく、AI が合意形成そのものを支援するプラットフォームへ。

安心してお使いいただくために

NDA（秘密保持）の締結状況も案件上で確認できます

■ 他社の案件は見えません

会社・案件単位でデータを分離。自社に関わる案件だけが表示されます。

※ データベースの行レベルアクセス制御 (RLS)

■ 二要素認証でアカウントを保護

パスワードに加え、認証アプリのワンタイムコードでログインを守れます。

※ TOTP 方式に対応

■ 見える範囲を役割ごとに制御

担当者ごとに閲覧・編集できる範囲を絞れます。関係部署が同席しても安心です。

■ 合意・変更の履歴が残る

記録は追記型で保持し、上書きしません。後から経緯をそのまま確認できます。



次の開発プロジェクトは、 合意の残る進め方で始めませんか

開発会社から招待を受けた方は、メール内のリンクから参加するだけ。難しい設定は不要です（ご利用無料）

これから発注先を検討される方も、お気軽にご相談ください

認識齟齬のないプロジェクトを、AccordNexus で体験してください。

無料で参加する app.accordnexus.com

サービス詳細 www.accordnexus.com

意思を、カタチに。 *Form follows intent.*

株式会社AccordNexus